

「福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会」



キックオフ集会 2023

12/27(水)

開場:13時 開会:13時30分～16時30分

開催場所:日比谷コンベンション大ホール

(日比谷図書文化館地下)

東京都千代田区日比谷公園1番4号

参加費:500円

(『テルル毒本』No1～No6 が配布されます)

◎原因裁定の目的⇒原発事故後に健康被害を
起こした原因物質の正体を明らかにすること
です。



【アクセス】東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線
「霞ヶ関駅」C4・B2 出口から徒歩約3分
都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口から徒歩約3分
JR「新橋駅」日比谷口から徒歩約10分

プログラム

(1)開会挨拶:山田真(原因裁定を求める会共同代表、小児科医・元八王子診療所理事長)

(2)基調報告:藤原寿和(原因裁定を求める会・事務局長)

(3)記念講演:山田國廣(京都精華大学名誉教授)

講演題名:福島原発事故後に東日本広域の被ばく者に急性原爆症その後のがんなど
慢性原爆症を起こした主犯は毒物テルルであった⇒テルル毒本 No1～No6 の概要説明)

(4)申立人4人の決意表明:①飯舘村の安齋徹②郡山市の松本徳子③福島市の
大越良二④南相馬市の渡辺瑞也

(5)弁護団からの提起:釜井英法(原因裁定を求める会の弁護団長:元日本弁護士会消
費問題対策委員長)

(6)会場からの質疑応答

(7)集会宣言案の採択

(8)閉会の辞

主催・福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

連絡先:千葉県市川市下貝塚2-19-2、藤原方:E-mail: fujiiwara.t2015@gmail.com

電話:080-4868-7388 Fax:047-373-4006

オンライン配信はこちら

<https://x.gd/s7uUQ>



放射能汚染公害原因裁定勉強会

開催日時:2023年12月27日(水)17:30～

開催場所:衆議院第一議員会館 1階 多目的ホール

◎「放射能汚染公害の原因裁定を求める会」のホームページには重要な資料が満載されています⇒ぜひ見てください。

ホームページへのアクセス方法:①検索画面で「放射能汚染公害の原因裁定を求める会」を入力する。②URL:
fujitoshi2023.jp.comを入力する


◎発足集会では以下に示す『テルル毒本』No1～No6が配布され、記念講演で内容概要説明が行われます。

テルル毒本 No.1

山田國廣著

『テルル化合物の恐るべき10大毒性』

福島第一原発事故で放出されたにもかかわらず隠されていたテルルの正体



福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

テルル毒本 No.2

山田國廣著

『トモダチ作戦におけるテルル毒の悲劇』




福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

テルル毒本 No.3

山田國廣著

『トモダチ作戦におけるテルル汚染の恐怖』

①女川沖 100km の空母ロナルドレーガン②東京都横田空軍基地③神奈川県横浜基地④宮城県仙台空港キャンプ地において、福島原発放出プルーム中大気放射能濃度 (Bq/m³) の主要核種として Te-129、Te-129m、Te-131m、Te-132、I-131、I-132、I-133、Cs-134、Cs-136、Cs-137 が検出されていた。



福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

テルル毒本 No.4

山田國廣著

『福島県における 2012 年以後の小児甲状腺がん多発の原因は 100%、原発事故要因によるものであった』

2008 年から 2018 年の福島県における男女 5 歳未満年齢階層別・甲状腺がん罹患率 (10 万人当たりの罹患 数) のトレンド解析による原発事故奇与率 (%) の算定結果




福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

テルル毒本 No.5

山田國廣著

福島県にける院内ガン登録のトレンド解析結果

『福島県において 22 部位のガンが原発事故要因で急増していた』




福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会

テルル毒本 No.6

山田國廣著

『申立人 4 人の被ばく状況・健康被害症状と被ばくプルームの確認』

申立人 4 人はテルル毒入りプルームに被ばくし急性原爆症および慢性原爆症を発症していた



福島原発事故放射能汚染公害被害原因裁定を求める会